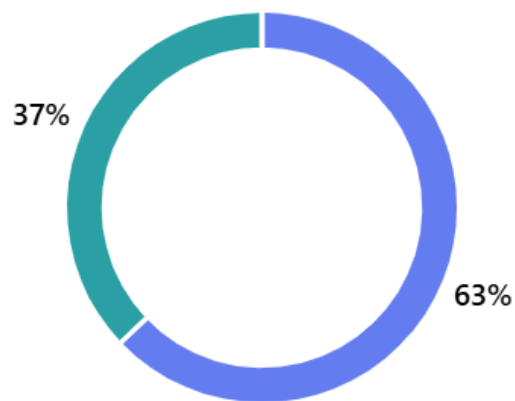


令和7年10月16日に行われた野村中お仕事座談会の事後アンケートより

地元でいきいきと働く方のお話を聞いて、西予市で働くことに興味を持ったと答えてくれた中学生が6割程度いました。

西予市で働くことに興味を持ちましたか？



● はい	22
● いいえ	0
● わからない	13



お仕事座談会に参加した生徒の感想を一部紹介



西予総合福祉協会：保育士 宇都宮未来・水口葉月



- ▶ 環境をいつもと変えることで子どもたちが今までできなかったことができるようになったり、その季節によって遊び方などを変えたりして子どもたちのことを第一に考えていることがわかった。
- ▶ 保育士は大変で辛いときもあると思うけど、子どもたちの成長を見るのが嬉しいというのが印象に残りました。
- ▶ 1人1人の子どもごとに、対応の仕方が違っていて、1人1人ごとのことを思っていてあげているんだなと思いました。

地域おこし協力隊 井上 愛友



- ▶ 外国や松山よりも環境が野村町のほうがあったという話をきいて、将来働くときには、自分にあった環境を見つけることが大切だと学びました。
- ▶ 地域おこし協力隊は都市部から過疎化地域へ移住し、主に郷育の推進をしていることを初めて知ったので、楽しそうだなと思いました。
- ▶ 遠くからこういう田舎みたいな所まで来て、こういう仕事につきたい！と思えるのがすごいなと思いました。



野城総合福祉協会：介護職 鈴屋 拓人



- ▶ 学校での部活の時間は今の仕事に役立っていたと思うという話を聞いて、今何気なく過ごしている学校で、将来に役立つものがたくさんあるのかもしれないなと思いました。
- ▶ 「どこに価値を置くか」という話が心に残った。自分が大切にしたい価値によってどんな仕事をするのが向いているかも全然違うものになるので、これからは私も大切にしたいことなどを考えて将来のことを決めていきたいと思った。
- ▶ 介護の仕事で感動の瞬間がやりがいになることやコミュニケーション能力が高くなるということを知って、もっと仕事に興味を持ちました。